



さん さん 燦 燦

佐世保市立清水中学校
学校だより 9号
令和4年 7月 5日
校長 椰尾 吉嗣

学校教育目標：「明るく、自ら求めて伸びる生徒の育成」

校訓：凜と在れ

生徒会スローガン：「全力」

6月は『いのちを見つめる強調月間』でした

佐世保市において6月は、1日の校長による「いのちを見つめる講話」、教育活動を公開する学校開放週間、“いのち”を題材にした全学級による道徳の公開授業、29日は「平和学習（佐世保大空襲について）」など、いつも以上に『いのち』や『平和』について考え学ぶ一か月でした。



6月29日、佐世保市においては『6.29』という呼び方で太平洋戦争中にわが故郷佐世保市を襲った大空襲で亡くなった方々のご冥福を祈るとともに、再び戦争という惨劇を招かないために、各学校で平和について考える日になっています。今年は、給食時に放送を使って私からお話をしました。上の写真の一番右はその時の原稿で、職員室前の廊下に貼ってありますので時間がある時に今一度読んでみてください。

月日が経つとともに、その時代を生きた方、実際に体験した方々が少なくなっていく直接お話を聞くことが難しくなってきました。今後は書物や映像等の記録でしか当時のことを知る術はなくなるでしょう。

私たちが生きる今は平和な時代と思っていますが、それを覆すような出来事が起こっています。ウクライナとロシアの戦争です。連日報道やニュースで多くの人の命が奪われる現状を目の当たりにして、「これが今の世の中の話なのか？」と信じられない気持ちとともに、心が痛みます。直接戦禍の現場に居なくても、連日リアルタイムでその状況を映像で見ている私たちこそ、先人たちが佐世保大空襲のことを語り継いできたように、この悲惨な出来事について深く考え、世界中で同じことを繰り返さないために、決して風化させることなく後世に語り継いでいく役割を担っています。

戦争や平和と考えると、どうしてもスケールの大きな話にとらえてしまいがちですが、きっとすべては、最も足元の私たち個人個人に端を発しているのではないのでしょうか。まずは、自分自身や周りの人を大切にでき、自分自身や周りの人を大好きになれる一人一人でありたいものです。6月がいつも以上に『いのち』や『平和』について考える機会になっていれば幸いです。

熱中症を防ぎましょう！

6月末に統計開始以来最も早い梅雨明けが発表されましたが、それと同時に先週は尋常でない暑さが全国各地から報告されていました。熱中症による救急搬送もニュースで伝えられるなど、各自に『いのち』を守る行動が求められています。

学校においても、早い時間からエアコンを入れ室温の上昇を抑えています。あわせて、こまめな水分補給も各担任から指示するとともに、放送を使って給食時や部活動前にも呼びかけています。学校、ご家庭それぞれで熱中症対策を施し、正しい知識をもって行動に移しましょう。

右の図は、厚生労働省が出している、熱中症予防についてのリーフレットです。

「厚生労働省・熱中症」と検索するだけで、予防についてや対処法などたくさんの情報を得ることができます。“調べてみる”も『いのち』を守る行動です。



厚生労働省のリーフレットの一部です

鮮明な画像等は、ホームページでご覧ください。